

町田市スポーツ推進計画アクションプラン 事業実施状況(2015年度)

※実施状況の実績は、2016年3月見込みの状況

施策1：地域におけるスポーツ推進
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1		実施主体	子育て支援課 子育て推進課 スポーツ振興課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業					
取り組み内容	講座や刊行物の発行等、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施する。					
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	実施					
実施状況	実施	実施				
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>○子育て推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者への各種お便りの発行、掲示物を通して運動の重要性を伝えた。 情報誌にストレッチについてスポーツ振興課の協力を得て、記事を掲載した。また、親子で楽しめる運動遊びの方法を掲載した。 育児講座(生活リズムと運動に関わる講座)を実施した。 <p>○スポーツ振興課</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域子育て相談センターが発行するマイ保育園情報誌に、子育てしながら子どもとっしょに行える簡単な運動に関する記事を町田市スポーツ推進委員に全4回寄稿してもらった。 					

施策1：地域におけるスポーツ推進
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-2		実施主体	指定管理者		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	指定管理者による幼児スポーツ教室事業					
取り組み内容	<p>幼児を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合体育館：ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5～6歳児対象) サン町田旭体育館：ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5～6歳児対象) 室内プール：幼児スクール※自主事業 成瀬クリーンセンターテニスコート：キンダークラス(4～6歳児対象)※自主事業 等 					
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	4,670名		
			目標水準	5,170名		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	4,770名	4,870名	4,970名	5,070名	5,170名	
実施状況	4,348名	6,026名				
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> 4歳から就学前の幼児を対象とした体操教室(成長段階に合わせた身体運動・集団種目の体験)を定期的実施。延参加者数 2,067名 要望の多い事業「キッズダンス教室」「キッズコアトレーニング教室」を新たに実施。延参加者数 478名 <p>○室内プール</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児スクールを年間を通し、5期に分け週2回の頻度で実施(夏季期間を除く)。延参加者数 2,180名 <p>○成瀬クリーンセンターテニスコート</p> <ul style="list-style-type: none"> テニススクールでキンダークラスを実施。延参加者数 263名 夏休み早朝ジュニアレッスンを実施。対象4～6歳児 参加者数 17名 こどもの日ジュニアテニスクリニックを実施。対象4～6歳児 参加者数 31名 <p>○サン町田旭体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> 4歳から就学前の幼児を対象とした体操教室を3期にわたり実施。延参加者数 990名 					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-3		実施主体	子育て支援課 子育て推進課	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進				
取り組み内容	A:乳幼児及び保護者を対象に、ボランティアや大学生、ホームタウンチームによる身体活動の指導や交流を行う。 B:市立保育園の保育士を対象に、身体づくり・体育遊びに関する研修を行う。				
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値 目標水準	— 実施	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	計画作成	A:年5回 B:年5回	A:年5回 B:年5回	A:年10回 B:年10回	A:年10回 B:年10回
実施状況	A:年38回 B:年5回	A:年22回 B:年5回			
2015年度の具体的な取り組み内容	A:ゼルビアのサッカー教室、ボイストレーニングを実施し、指導者との交流や体力づくり、身体を動かす楽しさを味わった。育児講座(ベビーマッサージ、ママの骨盤調整、リラクゼーション、リズム遊び等)を実施した。 B:運動あそびやリトミックに関する研修に職員が参加した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-4		実施主体	児童青少年課	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)				
取り組み内容	当事業は、利便性が高く、日ごろから多くの子どもや親子の利用がある子どもセンターにて実施する。 市内の子どもセンターで、幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム(フィットネス、レクリエーション)を定期的実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値 目標水準	実施 実施	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	実施				
実施状況	実施	実施			
2015年度の具体的な取り組み内容	各子どもセンターで、以下の事業を定期的実施した。 <子どもセンターばあん> ・ヤンチャッチャ (年間29回程度・対象:2歳から就学前までの乳幼児親子) ・キッズアタック (年間34回程度・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) <子どもセンターつるっこ> ・ぽっぷんたいむ(年間58回程度・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ・ぽっぷんたいむin三輪(年間10回程度・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ・どぎまぎチャレンジ(年間10回・対象:1歳から就学前までの幼児親子) <子どもセンターばお> ・ばわぱふたいむ(年間38回・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ・ばわぱふたいむin小山(出張事業・年間11回・対象:0歳から就学前の乳幼児親子) <子どもセンターただON> ・あそぼON (年間33回程度・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ・親子ママビクス(年間2回・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子) ・パパと遊ぼう(年1回・対象:0歳から就学前までの乳幼児親子)				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-5		実施主体	児童青少年課		
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進					
事業名	スポーツを通じた世代間交流事業					
取り組み内容	当事業は、小学生から高校生までが集える「子どもセンター」及び小学生の放課後の遊び場見守り事業「まちとも」の活動場所にて実施する。 ・高校生が、小・中学生にスポーツの指導をする機会を設ける。 ・地域スポーツクラブによるスポーツ教室と連携し、小・中学生がスポーツを体験する機会を設ける。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画	実施				
実施状況	企画	企画実施				
2015年度の具体的な取り組み内容	中高生を対象に、定期的に実施した。 <子どもセンターばお> ・ばおサル(年間9回・対象:中学生~18歳) ・ばおバス(年間4回・対象:中学生~18歳) <まちとも> 「まちとも」については、事業の見直しに着手しており、見直し内容を踏まえ、連携手法について改めて検討を進めている。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-6		実施主体	指導課		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業					
取り組み内容	スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣する。					
事業目標	指標	スポーツ指導員登録制度の活用		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	—	検討	実施			
実施状況	—	—				
2015年度の具体的な取り組み内容	スポーツ指導員登録制度の確立に至らなかったため、実施計画が先送りとなっている。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-7		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	食育推進事業					
取り組み内容	栄養学講義や調理実習、就農体験等の食に関するイベント、教室、スポーツ団体の行う事業に対し、支援を行う。					
事業目標	指標	教室・イベント等の実施数	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回	→	年2回	→	年3回	
実施状況	年2回	年2回	/	/	/	
2015年度の具体的な取り組み内容	地域スポーツクラブであるAC町田に業務委託し、年間2回の食育イベント(スポーツ栄養学講座)を実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-8		実施主体	町田市こどもマラソン大会実行委員会		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	町田市こどもマラソン大会					
取り組み内容	児童を対象に、陸上競技場でマラソン大会を行う。					
事業目標	指標	大会参加人数	計画初期値	1,570人		
			目標水準	2,200人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	1,850人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人	
実施状況	1,893人	2,058人	/	/	/	
2015年度の具体的な取り組み内容	12月5日に大会を実施し、当日はパラリンピック普及啓発事業を実施した。車椅子テニス、ライフル射撃の体験ブース等を設け、魅力的な大会づくりに努めた。参加者の募集に際しては、パンフレットの配布に加え、学校から児童に対する参加の働きかけを行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-9		実施主体	保健企画課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり推進事業				
取り組み内容	健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施する。				
事業目標	指標	スポーツに関連する研修の実施回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回			見直し 実施	
実施状況	年1回	年1回			
2015年度の具体的な取り組み内容	外部講師を依頼し、『今すぐできる！認知症予防体操！』の研修会を開催した。研修会の中では認知症の基礎的な講義及び認知症予防体操を行った。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-10		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	親子栄養講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講習会実施回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回		見直し 実施		
実施状況	年1回	年1回			
2015年度の具体的な取り組み内容	スポーツトレーナーによって、親子で遊びながらできる運動(40分)を行った。 参加者：親子17組				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-11		実施主体	健康課 健康推進課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組み内容	運動に関する講演会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値 目標水準	年1回 増加	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年1回	→	見直し 実施	→	→
実施状況	年1回	年1回	/	/	/
2015年度の 具体的な取 組み内容	講演会を実施した。 日時:2015年10月1日(木) 10時～12時 会場:健康福祉会館 講習室 講師:東京都医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科 運 動指導士・理学療法士・日本糖尿病療養指導士 天川 淑宏先生 講演会名:こうすればあなたも運動できる～生活の中に取り入れよう!心と体 が元気になる運動～				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-12		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値 目標水準	年4回 増加	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年4回	年2回	見直し 実施	→	→
実施状況	年4回	年2回	/	/	/
2015年度の 具体的な取 組み内容	若年層をターゲットにし、ヨガやアンチエイジング体操と筋トレを組み合わせた 運動を実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	講師派遣事業					
取り組み内容	地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対してスポーツ実技や食育、心の健康等に関する知識のある講師を派遣する。					
事業目標	指標	講師派遣実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	検討	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	事業の制度設計を進めるにあたり、事業に対する需要を調査する必要性を認識したため、今年度は引き続き検討を続けた。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-14		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	既存施設の利用時間の延長等					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が自主事業として行っている利用時間延長等の取り組みを制度化し、継続する。 利用時間の延長を検討する。(屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。) 					
事業目標	指標	利用時間を変更した施設数	計画初期値	2施設		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正(必要に応じて)	施行	
実施状況	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	実施 検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○室内プール <ul style="list-style-type: none"> ・サマータイム営業として、7/18(土)～8/31(月)の期間に午前8時30分に開館。(通常は9時開館) ○成瀬クリーンセンターテニスコート <ul style="list-style-type: none"> ・5～8月のハードコート利用時間延長(17-19時)実施。 ・7～9月の土日に早朝時間(7-9時)のコート貸出を実施。 <p>・条例を改正し制度化することへの影響及び利用時間を延長することの近隣住民への影響について検討した。指定管理施設において、利用時間の延長を制度化することは、管理費用の増加を意味すること。また、夜間や早朝の時間帯を利用することに関しては、近隣住民への説明や理解も必要になるため、実施にあたっては施行のタイミング等、慎重に検討する必要がある。</p>					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-15		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	既存施設の利用時間の延長						
事業名	夜間照明施設整備事業						
取り組み内容	小野路球場をはじめとする市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備する。						
事業目標	指標	夜間照明設置箇所数	計画初期値	7箇所			
			目標水準	12箇所			
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・調整	検討・調整設計	5箇所設置 (計12箇所)	—	—		
実施状況	検討・調整	検討・調整一部設計					
2015年度の具体的な取り組み内容	小野路球場の夜間照明整備について、庁内関係課で構成する「トップスポーツ施設整備プロジェクト」チームを組織し、検討を進め実施設計を行った。小野路球状以外のスポーツ施設に関しては、検討を行った。						

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-16		実施主体	指定管理者			
推進施策	ファミリースポーツの推進						
事業名	指定管理者による親子スポーツ教室事業						
取り組み内容	親子を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。						
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	2,221名			
			目標水準	2,450名			
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,250名	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名		
実施状況	3,976名	5,767名					
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に親子体操教室を実施(対象を年齢ごとに4つに分けて実施。延参加者数 3,656名) ○室内プール <ul style="list-style-type: none"> ・夏季期間に毎週末様々な親子参加のイベントを開催。延参加者数 1,505名 ○成瀬クリーンセンターテニスコート <ul style="list-style-type: none"> ・2016年3月に親子テニスレッスン&ミニゲーム大会を実施。参加者数 120名 ○サン町田旭体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児(2歳半~3歳児)とその保護者を対象とした体操教室を3期にわたり実施。延参加者数 326名 ○野津田公園 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生のお子さんをもつ家族を対象とした、お楽しみファミリー駅伝大会を3月に実施。(第2回大会)競技性よりも、家族でタスキをつなぎ絆を深めることを目的としている。(参加者数40組160名) 						

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-17		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ施設の親子利用促進				
取り組み内容	親子が利用できる施設の提供と周知を行う。				
事業目標	指標	スポーツ施設の親子 利用促進	計画初期値	事業実施	
			目標水準	継続	
実施計画	実施 施設PR方法 の検討	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
実施状況	実施	実施			
2015年度の 具体的な取 組み内容	○総合体育館 ・「まちだ★こどもフェスタ」において、廃材を利用したおもちゃ作成を実施し、親子のふれあいの機会を提供した。 ・12月「親子でいっしょ♪レクリエーション」を実施し、身体運動を通じて親子のコミュニケーションを図る場を提供した。 ○室内プール ・6～10月の期間に屋外スペースを「幼児テラス」として水遊びができる場として設置し、プールを利用できない乳幼児を対象に開放した。 ・年2回無料公開イベント「プール祭り」を実施し、親子のコミュニケーションの場として提供した。 ・毎月、ロビーや会議室も使い、季節に応じたイベントを開催した。 ○サン町田旭体育館 ・1～2月の期間に野球場の外野部分を、親子などがボール遊びをする場として開放した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-18		実施主体	地域スポーツクラブ	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業				
取り組み内容	・地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントを活性化させる。 (例：体験イベント⇒定期イベント) ・エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント(ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで)を実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	企画・実施	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
実施状況	企画・実施	企画・実施			
2015年度の 具体的な取 組み内容	地域スポーツクラブが今後ファミリースポーツイベントを開催する際に参考となるよう、スポーツ振興課で地域スポーツクラブ向けのスポーツ体験イベントを開催し、各クラブに参加してもらった。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-19		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組み内容	・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。				
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回	
			目標水準	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回			年6回	
実施状況	年8回	年6回			
2015年度の具体的な取り組み内容	小学生とその保護者を対象とした「スポーツにチャレンジ」事業を実施し、これまで事業を行ってきたサン町田旭体育館に加え、地域からの要望があった南二小子ども会でも新たに実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-20		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	民間プログラム連携事業				
取り組み内容	民間スポーツクラブと提携し、働く人のライフスタイルに合わせて民間スポーツ施設を利用できる制度(利用助成)を検討し、実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討			実施	
実施状況	検討	検討			
2015年度の具体的な取り組み内容	民間スポーツクラブとの連携については、町田市のアスリートを表彰する『スポーツアワード町田』において、施設利用券の協賛をいただき、受賞者が利用を行った。 一般市民に対する利用助成については、引き続き検討を進めていく。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-21		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	学校温水プールでの教室事業				
取り組み内容	学校温水プールの夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催する。				
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		検討	→ 実施		
実施状況	検討	検討			
2015年度の具体的な取り組み内容	学校温水プール事業については、以前から事業にかかる経費と利用者数のバランスに関して監査等から指摘を受けており、2015年度の施設管理契約の満了に伴い、過去の利用状況を精査し、事業内容の見直しを行なった結果、2016年度から事業を縮小することになった。 2015年度は、働き盛りの人を対象とした教室事業について検討を行ったが、経費や実施体制の問題から、予算化には至らなかった。今後、温水プール施設をはじめとする開放施設の活用など、当事業を含めた開放事業のあり方や位置づけについて検討する。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-22		実施主体	指定管理者	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業				
取り組み内容	夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催し、教室参加者を増やす。				
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施	計画初期値	2,226名	
			目標水準	2,500名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		2,300名	2,350名	2,400名	2,450名
実施状況	2,837名	4,042名			
2015年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 ・土曜日及び日曜日に勤労者バドミントン教室やアーチェリー教室、和弓教室を実施。 ・夜間プログラムとして、シェイプボディ、エアロビクスを毎週実施。 ・日曜日および祝日、夜間にお楽しみプログラムを開催。 ・日曜日及び祝日開催のトレーニング室のプログラムを実施。(延参加者 合計2,300名) ○室内プール ・「4泳法基本クラス」の水泳教室を週2回、夜間に実施。 ・水中エアロ教室を6～10月の期間(8月除く)に週1回夜間に実施。(延参加者 合計344名) ○サン町田旭体育館 ・勤労者が通える平日の夜間帯に卓球教室を実施。(延参加者 合計466名) ○野津田公園 ・成人を対象に体力測定の値を基に、現在の体力レベルや体力特性を自己評価できるようなプログラムを講義と実技の組み合わせで実施。 ・日常行えるトレーニングやエクササイズや家庭でもできる体力向上の実践方法についても学習する機会を提供。9月～12月の10回開催。(延参加者 合計58名) ・ピクニック広場を活用したマレットゴルフ教室の開催。(延参加者 合計874名) ・子育て世代や高齢者など運動初心者を対象とした女性限定のリフレッシュヨガ教室を実施。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-23		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	高齢者スポーツ普及事業					
取り組み内容	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者に対し、用具の貸与を行う。					
事業目標	指標	用具貸出件数	計画初期値	6件		
			目標水準	8件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	6件	→	7件	→	8件	
実施状況	6件	2件	/	/	/	
2014年度の具体的な取り組み内容	老人クラブに、計2件(ゲートボール1件、グラウンドゴルフ1件)の貸与を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-24		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業					
取り組み内容	ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行う。					
事業目標	指標	講習会参加人数	計画初期値	468人		
			目標水準	500人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	460人	470人	480人	490人	500人	
実施状況	423人	413人	/	/	/	
2015年度の具体的な取り組み内容	12高齢者支援センターに「ロコモ予防！歩く測定会」を委託し、17回(16回会場、1会場は2つの高齢者支援センターで合同開催)開催した。測定会は介護予防サポーター測定会チームと協働して運営し、ロコモ予防の普及啓発をした。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-25		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討	検討			
2015年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-26		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	〔再掲〕スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。 				
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回	
			目標水準	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回			年6回	
実施状況	年8回	年6回			
2015年度の具体的な取り組み内容	小学生とその保護者を対象とした「スポーツにチャレンジ」事業を実施し、これまで事業を行ってきたサン町田旭体育館に加え、地域からの要望があった南二小子ども会でも新たに実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-27		実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	障がい者スポーツ大会					
取り組み内容	様々な機関と連携を図り、毎年1回、障がい者スポーツ大会を開催する。					
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年1回		
			目標水準	年1回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	年1回
						年1回
実施状況	年1回	年1回				
2015年度の具体的な取り組み内容	11月3日に、町田市立総合体育館で開催し、約1,000名(市内福祉事業所及び一般参加者等)の参加があった。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-28		実施主体	障がい福祉課		
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	障がい児スポーツ教室事業					
取り組み内容	年間30回以上を目標に、障がい児スポーツ教室を開催する。					
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年30回以上		
			目標水準	年30回以上		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	年30回以上
						年30回以上
実施状況	年35回	年35回				
2015年度の具体的な取り組み内容	体育館、プールの2箇所、それぞれ35回の教室を開催した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-29		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ教室事業				
取り組み内容	障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施する。 教室の実施に際しては、参加希望の方に対して事前相談を行い、それぞれの実情に応じた指導ができるようにする。				
事業目標	指標	新たな教室の実施		計画初期値	—
		目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施	→	→
実施状況	一部実施	実施			
2015年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 ・障がい者卓球教室を年1期計5回実施。参加者合計 59名 ○サン町田旭体育館 ・障がい者卓球教室を実施。(全5回/コース:延参加者数 37名) ・トレーニングルームにおいて、障がいのある方に対しマンツーマン指導を実施。(要予約)車椅子を必要とする方、介護を必要とする方、脊柱側弯症の方などに姿勢改善や日常動作の改善などの指導を実施。 ○野津田公園 ・障がいのある方が、陸上競技を通じて身体を動かす楽しさや喜びを実感し、運動習慣づくりになることを目的に教室を実施。ビギナークラスとアスリートクラスとにクラス分けを行い、計18回開催。参加者合計 307名(2月時点)				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-30		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業				
取り組み内容	市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置する。				
事業目標	指標	スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置		計画初期値	—
		目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施	→	→
実施状況	調査	一部実施			
2015年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 ・トレーニングルーム及び教室事業に初級障害者スポーツ指導員資格保有者を1名追加した。新たに1名が資格を習得し、トレーニングルームに配置し、合計4名の資格保有者を配置している。 ○室内プール ・初級障害者スポーツ指導員の資格を有する職員を2名配置している。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-31		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討	検討			
2015年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-1		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	地域学校開放推進事業				
取り組み内容	既存の学校施設を、地域のスポーツ活動拠点として位置づけ、地域スポーツクラブを設立する。その中で必要に応じて、シャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウス機能を整備する。				
事業目標	指標	クラブハウス機能が整備された数	計画初期値	2箇所	
			目標水準	10箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3箇所 (計5箇所)	新規2箇所 (計7箇所)	新規3箇所 (計10箇所)	—	—
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1箇所 (計3箇所)	1箇所 (計4箇所)			
2015年度の具体的な取り組み内容	クラブハウス整備を目標とするのではなく、その学校を拠点とする地域スポーツクラブの設立支援を最優先に行い、2015年度は南大谷小学校に地域スポーツクラブの拠点となるクラブハウス1箇所を整備した。 また、新設校や改修があった学校については、地域の方の利用を想定した設備を有している状況である。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-2		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	学校施設・備品改善事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。 地域スポーツクラブ整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPRも一体的に図る。 				
事業目標	指標	学校施設開放利用登録者数	計画初期値	11,000人	
			目標水準	13,500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	計画	備品購入の一部実施			
2015年度の具体的な取り組み内容	学校開放にかかる修繕・備品の購入の全てをスポーツ振興課で行う事務体系の構築には至らなかったが、学校開放委員会を地域スポーツクラブに格上げすることで、備品経費やイベント運営資金をクラブに対して支援する事業を進め、一部地域のスポーツクラブ整備校の施設修繕や備品購入を実施した。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備				
事業名	スケートパーク整備事業				
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について検討する。				
事業目標	指標	スケートパーク整備のための検討	計画初期値	—	
			目標水準	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				
実施状況	検討	検討			
2015年度の具体的な取り組み内容	庁内関係課で構成する「トップスポーツ施設整備プロジェクト」にて検討を進めた。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-4		実施主体	公園緑地課	
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備				
事業名	公園・緑地等の芝生整備事業				
取り組み内容	公園・緑地等で芝生の整備が可能な場所を検討し、整備する。				
事業目標	指標	芝生の整備	計画初期値	—	
			目標水準	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				
実施状況	検討	検討			
2015年度の具体的な取り組み内容	芹ヶ谷公園再整備基本計画の検討において、新たに整備する都営高ヶ坂団地跡地に芝生広場を設けることとした。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	高架下スペースのスポーツ利用					
取り組み内容	小山沼陸橋高架下スペースの一部について、地域と調整し、スポーツ利用できるように整備する。					
事業目標	指標	スポーツ利用のための整備	計画初期値	—		
			目標水準	1箇所		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		検討			→	1箇所
実施状況	検討	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	地域との話し合いを重ね、概ね整備の概要を固めた。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	法政スポーツ教室事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者及び大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催する。 ・ニーズに合った教室を開催するとともに教室情報を広く市民に普及できるように、大学と協力して方策を検討・実施する。 					
事業目標	指標	延べ参加者数	計画初期値	233人		
			目標水準	250人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		240人			→	250人
実施状況	282人	289人				
2015年度の具体的な取り組み内容	教室情報を広報まちだに掲載するとともに、市公式ホームページに掲載し、事業の周知を図った。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業					
取り組み内容	大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放する。					
事業目標	指標	年間利用率	計画初期値	47%		
			目標水準	70%		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	50%	55%	60%	65%	70%	
実施状況	48.1%	62.7%				
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>広報まちだやホームページを利用し、利用率の向上を図った結果、前年度から14.6ポイント向上した。</p> <p>団体登録数 2014年度 21団体 2015年度 24団体</p> <p>団体登録者数 2014年度 131名 2015年度 145名</p>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	大学連携推進事業					
取り組み内容	既に連携協力を行っている法政大学・東京家政学院大学以外の市内大学と連携協力し、大学施設を市民が利用できる仕組みを検討・実施する。					
事業目標	指標	市と連携協力している大学数	計画初期値	2大学		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討		協定締結 実施			
実施状況	検討	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	まだ連携を行っていない大学にヒアリングを行い、連携内容を検討した。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-9		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進				
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業				
取り組み内容	・市内小・中学校を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立を働きかける。 ・クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施する。				
事業目標	指標	地域スポーツクラブ整備数	計画初期値	4団体	
			目標水準	20団体	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3団体 (計7団体)	新規2団体 (計9団体)	新規3団体 (計12団体)	新規4団体 (計16団体)	新規4団体 (計20団体)
実施状況	1団体 (計5団体)	2団体 (計7団体)			
2015年度の具体的な取り組み内容	学校開放利用団体を中心に、地域スポーツクラブ設立の働きかけを行い、事業運営費補助を実施することで、2団体が地域スポーツクラブを設立し、4団体が地域スポーツクラブ設立に向け準備を行うまでに至った。また、1団体に対し、クラブハウスの管理運営委託を実施した。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-10		実施主体	スポーツ推進委員	
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	まちだニュースポーツ推進事業				
取り組み内容	・ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況を把握する。 ・推進する種目の選定及び事業の実施を行う。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・検討	→	実施	→	→
実施状況	検討	企画・検討			
2015年度の具体的な取り組み内容	ニュースポーツ選定の候補の一つとして、「クッブ」を検討し、教室事業にて実施し検討を進めた。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-11		実施主体	児童青少年課(ひなた村)		
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進					
事業名	キンボールスポーツ事業					
取り組み内容	年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ8回、また教室のフォローアップとして10回、1時間ずつ、水曜日に実施している。 また、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校の学年行事として、またPTAや子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約10校にてキンボール事業を実施しており、事業の拡充を検討する。					
事業目標	指標	プログラムサービス事業実施校	計画初期値	10校		
			目標水準	15校		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	11校	12校	13校	14校	15校	
実施状況	10校	14校				
2015年度の具体的な取り組み内容	小学校の学年行事やサマースクールとして8校11回、子ども会からの要請により3回、及び11月27日町田市健全育成地区委員会連絡協議会委員向けに研修を実施した。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-12		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	大学との協定の締結					
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業					
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。					
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—		
			目標水準	3大学		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	制度設計・調整		新規1大学(計1大学)	新規1大学(計2大学)	新規1大学(計3大学)	
実施状況	検討	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	事業推進のためには、学生ボランティアを受け入れる事務局など運営体制を整備する必要がある。運営の受け皿をどこにすべきか、費用負担はどうするかなどの検討を進めた。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	スポーツ指導員登録制度事業					
取り組み内容	スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動へ指導員を紹介する。					
事業目標	指標	登録制度の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	→
			検討	実施		
実施状況	検討	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-14		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業					
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	→
			検討	実施		
実施状況	検討	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-15		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。				
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数	計画初期値	—	
			目標水準	1,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人
実施状況	2,000人	2,500人			
2015年度の具体的な取り組み内容	ホームタウンチームのホームゲームでの運営ボランティアなどの活動調整を行い、131事業、延べ2500人のボランティアが活動した。2015年度は、ボランティアリーダーを導入し、活動環境の改善に努めた。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-16		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	屋外スポーツ施設維持管理事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外スポーツ施設の維持管理計画を策定する。 ・計画に基づき、維持管理・修繕を進める。 				
事業目標	指標	計画に基づく施設整備・修繕の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討		維持管理計画策定	施設維持・修繕	
実施状況	検討	一部修繕			
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>屋外スポーツ施設を所管する部署間で情報共有を図り、特に芝生の傷みがひどい野球場2箇所の外野芝生の整備を行なった。</p> <p>また、テニスコートについても野津田公園の砂入り人工芝張替えが完了し、成瀬クリーンセンターのハードコートを砂入り人工芝コートに改修する。(2016年4月完了予定)</p> <p>なお、施設維持管理については、財政状況に大きく左右されることが多く、計画策定の検討には至っていない。</p>				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-17		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	スポーツ広場の再編成・整備事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場の施設整備方針に基づく整備を行う。 ・施設案内予約システム及び使用料の有料化を導入する。 ・民間活力による(PFI等)手法の導入等、効率的な整備推進を検討する。 ・地域スポーツクラブ設立や指定管理者等による新たな管理運営の視点を検討する。 				
事業目標	指標	スポーツ広場の施設整備及び管理運営の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	方針決定	計画策定	利用団体との調整	設計	整備工事
実施状況	決定	方針決定			
2015年度の具体的な取り組み内容	2014年度末に方針決定予定であったが、策定に至らず、2015年度に方針策定となった。公有地でかつ一定程度の面積がある既存スポーツ広場については、スポーツ公園と位置付け、順次整備を図っていくこととなった。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-18		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	利用種目の見直し				
取り組み内容	寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。利用可能種目を見直し、施設案内予約システムの仕様を変更する。				
事業目標	指標	利用種目の見直しの実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				実施
実施状況	検討	検討			
2015年度の具体的な取り組み内容	利用種目の見直しに関して課題の洗い出しを行なった。 ・体育館に関しては、現状の利用率が非常に高く、一般利用者から抽選が当たらず、利用できないという声が多い。利用種目を増やすことで、抽選倍率が更に高くなり、利用しづらい施設になる恐れがある。 ・総合体育館においては、大きなイベントが企画されることが増え、一般利用者の利用枠が少なくなっている状況がある。 ・フットサルや障がい者スポーツ、ニュースポーツ等、利用拡大を求められる種目が多く、判断基準が難しい。 以上のような課題がある。いずれの課題もハードルが高い。				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-1		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充					
事業名	ホームタウン活動マッチング事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域祭事や地域貢献活動に関わる自治会町内会などの地域団体に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。 ・市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。 ・ホームタウンチームのホームタウン活動について、広報の支援を行う。 					
事業目標	指標	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等へのホームタウンチームの参加回数		計画初期値	70回	
				目標水準	140回	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	80回		90回	100回	120回	140回
実施状況	139回		145回			
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>「ホームタウンチームとの連携に関する調査」を初めて全庁的に実施し、市主催事業や地域のイベント等でホームタウンチームとの連携が可能なものの掘り起しを行った。調査の結果、36件のマッチングが実現し、目標回数を大幅に上回る145回のホームタウン活動が行われた。なお、各チームごとの内訳は、FC町田ゼルビア100回、ペスカドーラ町田20回、キャノンイーグルス25回となった。</p>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-2		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	市内小・中学校との連携促進					
事業名	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等を対象に、ホームタウンチームの主催する出前スポーツ教室とマッチング等を行い、支援する。 ・出前スポーツ教室の内容を拡充し、単なる競技だけでなく、スポーツ栄養学や職場体験、職業講座などの新たな取り組みも支援していく。 					
事業目標	指標	ホームタウンチームによる出前スポーツ教室等の延べ実施回数		計画初期値	54回	
				目標水準	150回	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	60回		80回	100回	120回	150回
実施状況	59回		83回			
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>東京都市長会の多摩・島嶼スポーツ振興事業助成金を活用し、FC町田ゼルビアの下部組織であるNPO法人アスレチッククラブ町田を中心に計81回の出前スポーツ教室を開催した。各クラブごとの内訳は、FC町田ゼルビア79回（スポーツ栄養学講座2回を含む）、ペスカドーラ町田1回、キャノンイーグルス3回となった。</p>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(2) 運営支援

番号	3-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム開催周知連携事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチームと町内会・自治会や商店街、学校等をマッチングし、ホームゲームの開催周知や観戦招待などの取り組みを支援する。 ホームタウンチームや、その運営を支えるボランティアが行う街頭周知活動等の取り組みについて、周知機会の提供やマッチング等により支援する。 				
事業目標	指標	ホームタウンチームホームゲームの年間観戦者数	計画初期値	69,503人	
			目標水準	17万人	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		8万人	10万人	12万人	14万人
実施状況		70,345人	107,585人		
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> FC町田ゼルビアについては、J3リーグ開幕戦に合わせて「FC町田ゼルビア応援ウィーク」を初めて開催し、市職員によるユニフォームデーや町田駅前ポスタージャックなどの取り組みを行った結果、リーグ開幕戦としては過去最高となる7,803人を記録した。この他、年間を通じて町内会自治会への告知や市内小中学校の児童・生徒へのPR活動に積極的に取り組んだ結果、リーグ公式戦およびJ2J3入れ替え戦の計21試合で過去最高の83,941人を記録した。 ペスカドーラ町田については、町田セントラルの開催を支援し、地域一体のイベントとすることで大きな賑わいを作り出したほか、年間を通じて市内小中学校の児童・生徒へのPR活動に取り組んだ結果、リーグ公式戦(セントラル開催を含む)の計16試合で20,884人を記録した。 キャノンイーグルスについては、スポーツ紙や業界雑誌などのマスメディアとの連携を深め、また街頭チラシ配り活動などにも取り組んだ。リーグ公式戦1試合で2,760人を記録。この他、本計画の指標外だが、ブルーブルズ(南アフリカ共和国)との国際交流試合で5,016人を記録。 				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(2) 運営支援

番号	3-4		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームゲームの運営体制を支えるボランティア活動の支援をするとともに、まちだサポーターズとも連携した取り組みを行う。 ホームゲームの会場への交通アクセス等に関する取り組みを支援し、その向上に努める。 				
事業目標	指標	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数	計画初期値	1,740人	
			目標水準	2,500人	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		2,100人	2,200人	2,300人	2,400人
実施状況		2,342	2,382		
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> FC町田ゼルビアについては、運営体制も確立され、まちだサポーターズからの参加希望も多く、安定した状況にある。 ペスカドーラ町田については、町田サポーターズから一定の参加が確保されているものの、運営体制に難があり、参加者から問題指摘を受ける場面がある。特に、町田セントラル開催およびプレーオフ開催については、多くの指摘を受ける結果となった。 キャノンイーグルスについては、町田での試合運営に関してまだまだ市のバックアップを受けている状態である。特に7月31日のブルーブルズとの国際交流試合では、初めての取り組みということもあり、まちだサポーターズから多くの指摘を受ける結果となった。12月のトップリーグ開催については、市のバックアップにより概ね安定した運営が行われたが、今後はより自立した運営が求められる。 FC町田ゼルビアの観客動員が大幅に伸びたこともあり、町田駅からの直行バス(接続バス)運行が2016年2月より実施されることとなった。 				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
 (2) 運営支援

番号	3-5		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保				
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の利用時間枠の見直し等により、全体の利用率を拡大し、ホームタウンチームの利用率も拡大する。 ・ホームタウンチームの自主的な練習施設確保の取り組みを支援する。 ・ホームタウンチームがスポーツ施設を利用する際の施設利用料等の負担を軽減させる。 				
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—
				目標水準	実施
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	検討		→	実施	→
実施状況	検討		一部実施		
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市立陸上競技場について、インフィールド利用に関する運用基準をより明確化することで、ホームタウンチームの利用がより円滑に進むような体制にした。 ・FC町田ゼルビアの自主的な練習施設確保の取り組みを支援した。 				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
 (2) 運営支援

番号	3-6		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	サポーターの拡大				
事業名	ホームタウンチーム相互連携事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームで連絡・調整を図る「連絡会(仮称)」を開催し、相互に連携できる環境を整える。 ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームの連携した取り組みを支援する。 				
事業目標	指標	3つのホームタウンチーム合同による連携活動の取り組み数		計画初期値	—
				目標水準	3回
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	連絡会の開催		1回	2回	3回
実施状況	協議の場の設定 2クラブによる共同企画実施		2回		
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームを包括的にPRする「ホームタウンチーム展」を市庁舎1階イベントスタジオで初めて実施した。 ・産業観光課所管のまちださくら祭りへ3クラブ全てが協力し、町田市のPRを行った。 ・キャノンイーグルスとブルー・ブルズの国際交流試合において、FC町田ゼルビアがイベント協力するなど、双方向での連携を深めた。 				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
 (3) 広報・告知活動の充実

番号	3-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進				
事業名	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、ホームタウンチームのチームカラーを生かした広報物の設置等を行うとともに、町田市におけるスポーツの盛り上がりや魅力を発信する。 ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおいて、町田市の魅力を発信するコンテンツを充実させる。 				
事業目標	指標	ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおける町田市の魅力発信活動	計画初期値	JFL全試合実施	
			目標水準	他リーグへ拡充・コンテンツ充実	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業内容設計	実施			→
実施状況	事業内容検討 一部実施	実施			
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> FC町田ゼルビアについて、職員ユニフォームウィークの開催や町田駅前ペDESTリアンデッキのポスタージャック、庁用車への試合告知掲出など、様々な形でのPRを図った。 ペスカドーラ町田について、JR成瀬駅から市立総合体育館への経路へ路上表示が整備されたほか、街路灯フラッグについても一部メンテナンスを行った。 キャノンイーグルスについて、町田駅前ペDESTリアンデッキのポスタージャックなどの取り組みを行った。 FC町田ゼルビアのホームゲームにおいて、引き続き町田産野菜「まち☆ベジ」の販売等により町田市のPRが行えるよう調整を行った。 キャノンイーグルスに関して町田市で開催された2試合において、町田市観光コンベンション協会がPR・物販ブースを出展するなど、新たな形でのPRの取り組みの調整を行った。 				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-1		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 参加国や関係各所への招致活動を行う。 選手やスタッフの宿泊場所を確保するため、関係団体と調整を行う。 市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする、機運の醸成を行う。 					
事業目標	指標	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致・ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	招致	
実施計画	招致活動	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	招致活動	招致活動				
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 町田市の各スポーツ施設に関し、計6団体の視察を受け入れた。 市内宿泊施設の視察を行い、選手団の受け入れ体制を調査した。 ラグビーワールドカップキャンプ地の事前登録を行った。 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地候補ガイドへの登録申請を行った。 競技団体をはじめとする関係各所に対し、キャンプ地の招致活動を行った。 市民会議を立ち上げ、気運醸成をはかった。 					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-2		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	全国大会等誘致事業					
取り組み内容	<p>各種の全国大会等の公式試合を町田市で開催してもらえるように大会主催者やクラブチームに対して誘致活動を行う。</p> <p>・バドミントン日本リーグ・NBL(ナショナルバスケットボールリーグ(日本))・bjリーグ(日本プロバスケットボールリーグ)・全国高校サッカー選手権大会 等</p>					
事業目標	指標	大会開催		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	大会開催	
実施計画	誘致活動 大会開催	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催				
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>ラグビー国際交流戦、バドミントン日本リーグ(一部リーグ)、サッカーなでしこリーグ2部 を初開催したほか、昨年に引き続き、プロバスケットボールbjリーグ、全日本大学サッカー選手権大会、全国車椅子バスケットボール大学選手権大会などの大会を開催し、キャンプ地招致につながるよう各団体との関係性を構築した。</p>					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-3		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業					
取り組み内容	ラグビートップリーグで活躍するキャノンイーグルスの試合を陸上競技場で開催してもらえるようにキャノンイーグルス及び日本ラグビーフットボール協会に対して誘致活動を行う。					
事業目標	指標	大会開催	計画初期値	—		
			目標水準	大会開催		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		誘致活動 大会開催				
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催				
2015年度の具体的な取り組み内容	競技団体と調整を行い、昨年に引き続き、12月19日にジャパンラグビートップリーグ公式戦「キャノンイーグルス対トヨタ自動車ヴェルブエリッツ」が開催された。また、ブルーブルズ(南アフリカ共和国)を招待した国際交流試合の調整も行き、初開催に至った。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討					
事業名	競技スポーツの場の整備					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館の得点表示板の更新を行う。 総合体育館に大型バス乗降場を整備する。 室内プール(50mプール)のコースロープを一新し、公認を受ける。 室内プールの電光表示システムを更新する。 総合体育館に大型映像装置を整備する。 陸上競技場に大型映像装置の整備と観客席の増設を行う。 					
事業目標	指標	競技スポーツの場の整備	計画初期値	—		
			目標水準	整備		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		総合体育館得点表示板更新・室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	総合体育館大型バス乗降場整備の検討	総合体育館大型バス乗降場整備設計、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置検討、陸上競技場観客席増設検討、室内プール電光表示システム更新	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置設計、陸上競技場観客席増設設計	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置工事、陸上競技場観客席増設工事
実施状況	実施	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	陸上競技場への大型映像装置設置について、設置に向けた検討を行なった。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化					
事業名	体育協会等との情報共有の強化					
取り組み内容	・各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。 ・体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。					
事業目標	指標	体育協会との業務連携		計画初期値	実施強化	
		2014年度	2015年度	目標水準	2017年度	2018年度
実施計画	優先受付取扱基準の見直し検討、各団体からの要望への対応検討・実施	施設利用優先受付業務の実施・改善				→
実施状況	優先受付業務実施・見直し検討	施設利用優先受付業務の実施・改善				
2015年度の具体的な取り組み内容	毎月定例で町田市体育協会事務局との打合せを行い、情報共有・連絡を密にすることで、スポーツ施設優先予約等の業務の改善を行った。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり[再掲]					
事業名	[再掲]スポーツボランティア活性化事業					
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。					
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	2017年度	2018年度
実施計画	600人	750人	900人	1,050人	1,200人	
実施状況	2,000人	2,500人				
2015年度の具体的な取り組み内容	ホームタウンチームのホームゲームでの運営ボランティアなどの活動調整を行い、131事業、延べ2500人のボランティアが活動した。2015年度は、ボランティアリーダーを導入し、活動環境の改善に努めた。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	大学との協定の締結[再掲]					
事業名	[再掲]スポーツに関わる人材育成連携事業					
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。					
事業目標	指標	市の事業と連携する 大学数	計画初期値	—		
			目標水準	3大学		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		制度設計・調整	新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)	
実施状況	検討	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	事業推進のためには、学生ボランティアを受け入れる事務局など運営体制を整備する必要がある。運営の受け皿をどこにすべきか、費用負担はどうするかなどの検討を進めた。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (3) 障がい者スポーツの活性化

番号	4-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供					
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致					
取り組み内容	障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケットボールの大会など障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。					
事業目標	指標	障がい者の競技スポーツ大会開催数	計画初期値	1大会		
			目標水準	2大会		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		2大会				
実施状況	2大会	2大会				
2015年度の具体的な取り組み内容	陸上競技場にて、毎年開催している関東身体障害者陸上競技選手権大会を、総合体育館にて昨年度に引き続き全国車椅子バスケットボール選手権大会を開催した。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-9		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの市内スポーツイベントへの積極的な出演を促進する。 ・小学生、働く世代、高齢者等、世代ごとのミニ「スポーツアワードまちだ」を開催する。 ・ホームページ、SNS、紙媒体などの積極的活用や新聞、テレビなどのマス媒体への積極的なPRを行うことで、トップアスリートとの交流機会の周知を強化し、市民の参加を促進する。 				
事業目標	指標	トップアスリートとの交流機会の回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	年3回	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		年1回	→	年2回	→
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		企画	年2回	/	/
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「第6回スポーツアワードまちだ」を3月5日に町田市文化交流センターで開催した。過去最多となる98組の個人・団体からの応募があり、グランプリ等の表彰式典及び市民とアスリートを繋ぐ交流会を実施した。 ・子どもマラソン大会にて、ゲスト出演していただいたアスリートと参加者が触れ合う機会を設けた。 				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-10		実施主体	指定管理者 町田市体育協会	
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業				
取り組み内容	競技団体やホームタウンチームと連携し、トップアスリートが出演、参加するイベントを実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		イベント実施			→
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		実施	実施	/	/
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館をホームとするフットサルチーム「ASVベスカドーラ町田」が行うフットサルスクールやチアリーディングスクールを実施。延参加者数 6,105名 ・こどもの日(5/5)に「マッスルミュージカル」としてアスリートによるパフォーマンスを実施。 ○成瀬クリーンセンターテニスコート <ul style="list-style-type: none"> ・プロテニスプレーヤーを招きテニスクリニックを実施。参加者合計 193名 ○野津田公園 <ul style="list-style-type: none"> ・元オリンピック選手を講師に迎え、運動会やマラソン大会などを旨とする小学生を対象に、年間5クール計36回教室を実施。 ・主婦層から高齢者まで運動初心者を対象に、ジョギング・ランニングを通して、身体を動かす楽しみやスポーツに親しむ機会を提供。年間4シリーズ計36回教室を実施。 参加者合計 2,504名(1月までの延べ人数)				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-11		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実					
事業名	表敬訪問事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討する。 ・出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、また、その競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討する。 ・出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討する。 					
事業目標	指標	表敬訪問実施数		計画初期値	25回	
		目標水準		35回		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	25回		→	30回	→	35回
実施状況	17回	15回				
2015年度の具体的な取り組み内容	表敬訪問の受入方法を検討、実施した。市長への報告だけでなく、市民の方に触れる機会の検討を行い、実施した。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-12		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実					
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給する。 ・スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱を見直す。 ・より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討する。 					
事業目標	指標	祝金支給件数		計画初期値	85件	
		目標水準		150件		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	85件		120件	130件	140件	150件
実施状況	90件	90件				
2015年度の具体的な取り組み内容	2014年度に見直しを行い、2015年4月1日に改正を行った支給要綱に基づき、祝金を支給した。今後の支給実績を基に、周知方法等を検討していく。					

施策5：スポーツのまちづくり
 (1) スポーツ・ツーリズムの推進

番号	5-1		実施主体	一般社団法人町田市観光コンベンション協会 産業観光課		
推進施策	スポーツ・ツーリズムの連携促進					
事業名	スポーツ・ツーリズム実施事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチーム応援ツアーの企画 ・旅行代理店へのPR 					
事業目標	指標	ツアー実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		企画・実施				
実施状況	実施	実施				
2015年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年12月27日にキヤノンスポーツパークで開催されたラグビートップリーグ練習試合「キヤノンイーグルス」対「ヤマハ発動機ジュビロ」戦の観戦ツアーを実施した。 ・2016年2月28日に市立陸上競技場で開催されたサッカーJ2「町田ゼルビア」対「セレッソ大阪」戦の観戦ツアーを実施した。 					

施策5：スポーツのまちづくり
 (2) 公園等におけるスポーツ施設の充実

番号	5-2		実施主体	公園緑地課		
推進施策	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備					
事業名	第二次野津田公園整備基本計画推進事業					
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画に基づき、スポーツ施設の整備を進める。当面は、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、既存の陸上競技場と併せて必要な人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進める。					
事業目標	指標	野津田公園内におけるスポーツ施設整備箇所数	計画初期値	—		
			目標水準	2箇所		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		用地測量	都市計画決定 用地買収	基本設計 実施設計	整備	
実施状況	用地測量	用地取得交渉				
2015年度の具体的な取り組み内容	拡張区域の用地取得と都市計画に向け、地権者と交渉を進めた。今後も、ご理解をいただけるよう交渉を継続する。					

施策5：スポーツのまちづくり
 (3) 広域スポーツのブランド化

番号	5-3		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	市民マラソン等の活性化					
事業名	武相マラソン大会支援事業					
取り組み内容	広報、ホームページ、その他メディア等を通じて、武相マラソン大会に関する情報発信・PRを強化する。					
事業目標	指標	参加者数		計画初期値	2,000人	
				目標水準	3,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	2,500人	→	2,750人	→	3,000人	
実施状況	1,700人	1,860人	/	/	/	
2015年度の具体的な取り組み内容	2015年度大会と同様に2016年度大会についても、ホームページと広報まちだへ情報を掲載した。					

施策5：スポーツのまちづくり
 (4) 公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化

番号	5-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ユニバーサルデザインの推進					
事業名	既存スポーツ施設のバリアフリー改修					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 ・サイン改修工事 ・障がい者の競技スポーツ大会開催のための施設整備 ・利用者の要望を取り入れた小規模なバリアフリー改修工事 					
事業目標	指標	改修工事実施施設数		計画初期値	—	
				目標水準	3施設	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	改修計画の検討、営繕課との調整	学校温水プール、木曾中管理事務所のサイン改修実施	営繕課の修繕計画に合わせてトイレ・サイン工事実施 小規模バリアフリー改修	→	→	
実施状況	検討・一部実施	検討	/	/	/	
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>スポーツ施設毎に利用者や設備の違いがあり、必要とされる改修が異なるため、2015年度はそれぞれの施設に必要な整備の検討を行った。2016年度以降は、引き続き検討を進めていき、関係部署との調整を行った後、改修に向けて予算措置等を行っていく。</p> <p>なお、室内プールでは、東京都福祉保健局より「赤ちゃん・ふらっと」マークの交付を受けた。</p>					

施策5：スポーツのまちづくり
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツフォーラム活性化事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がより参加しやすい形でのスポーツフォーラムの開催 ・フォーラム内容のフォローアップをホームページで実施 					
事業目標	指標	スポーツフォーラムの見直し	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→		見直し実施	→	
実施状況	検討	検討				
2015年度の具体的な取り組み内容	オリンピック・パラリンピックと絡め、市民が興味を持ってもらえるようなフォーラムを開催すべく、調査検討をした。					

施策5：スポーツのまちづくり
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-6		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習ポータルサイト構築事業					
取り組み内容	講座・講演会情報、活動団体情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページ(生涯学習ポータルサイト)を構築する。					
事業目標	指標	生涯学習ポータルサイトの構築	計画初期値	—		
			目標水準	構築・稼動(2015年度)		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	運用ルール の 検討	ポータルサイトの構築・稼動		運用	検証	運用改善 実施
実施状況	検討	投稿型アプリの調査・研究				
2015年度の具体的な取り組み内容	先進市の取組や投稿型アプリについて調査・研究を行った。					

施策5：スポーツのまちづくり
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-7		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習NAVI					
取り組み内容	市内もしくは近隣地域で開催され、市民が参加できる講座・講演会、イベントなどの情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAVI」を発行する。					
事業目標	指標	生涯学習NAVIの配布施設数	計画初期値	65施設		
			目標水準	100施設		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	65施設			→	100施設	
実施状況	96施設	97施設				
2015年度の具体的な取り組み内容	市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAVI」を年4回発行した。配布施設数は昨年度1増の97施設となった。					

施策5：スポーツのまちづくり
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツ情報発信・広報支援事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチーム・アスリートの活動情報を町田市ホームページや広報まちだ、市政情報モニター「まちビジョン」、シティセールス(CS)コーナーに掲載する。 ・ホームタウンチームの広報誌やPRポスターを市内各施設・小中学校、掲示板に配布・掲示する。 ・情報誌「スポまち キッズ!」をSportsまちだホームタウン協議会と協働し、作成・発行する。 ・総合体育館情報コーナーの有効活用及び他スポーツ施設の情報コーナーの整備を行う。 					
事業目標	指標	ホームページでのアスリート情報発信件数	計画初期値	134件		
			目標水準	190件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	150件	160件	170件	180件	190件	
実施状況	128件	35件				
2015年度の具体的な取り組み内容	<p>ホームタウンチーム・アスリートの活動状況を下記的手段で発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへのアスリート活動情報の掲載: 35件 ・ペDESTリアンデッキ電光掲示板へのスポーツ情報の掲載: 50件 ・まちビジョンへの掲載: 7回 ・シティセールスコーナーへのホームタウンチーム試合結果掲載 ・ホームタウンチームのポスター・チラシの配布: 各公共施設・小中学校・町内会自治会 ・「スポまち キッズ!」の発行: 年2回 <p>ホームページでの発信件数は減少したが、ホームタウンチームによる街頭での告知活動や、市庁舎での放送等、情報の発信方法を別の形で行っている。</p>					